

国労気仙沼地域分会
2011年3月23日(水)
号外



気仙沼

全組合員が協力し組織拡大強化と
労働条件の維持改善を勝ち取ろう
発行責任者 熊谷泰幸
編集責任者 分会教宣部

大船渡線も存亡の危機

廻館橋から竹駒方面は、いちめんガレキの山



気仙川橋梁の橋脚が川の上流に！

2011年3月11日、14時46分東北地方を中心としたM9の地震発生。新聞報道によれば3つの地震が連続的に起こり、400キロに渡り岩盤が崩壊した事により大津波が発生したのだという。

私が住む陸前高田市。あの風光明媚な高田松原。過去の津波経験により出来上がった強固な防波堤。その防波堤に守られていると勘違いし住居を建てたわれわれ市民。まさか津波が堤防を越すとは思わず、防災対策の甘さにより設定された市民会館と市民体育館という避難所。想定外の津波により建物も人もすべてを失った。地盤沈下によってなかなか水がひけない状態の町。市の復興が叫ばれる中、このままの状態で本当にこの町に住む人が居るのだろうか？人

伝えでは、キャピタルホテルの前はすぐ海との事である。なお現在の勢いでは生存者は20,000人を下回る可能性もある。

今後は大船渡市、陸前高田市、住田町の2市1町で新たな市を造り、旧市と町は各行政区にして奥州氏と同じ形にしなければならないと思う。また各機関の庁舎は造成をしてでも高台に建設し、防災無線もより強固なものにしないと、地震が発生した場合、何の情報も入らない。ちなみに今回の津波による防災無線の最後の放送は『堤防越えだぞ～早く逃げろ～！は、早く逃げて下さい！・・・プ～』だった。

亡くなられた方々のご冥福と不明者が早く自宅に戻る事を祈ります。